

令和7年度 大阪府立大冠高等学校 第1回 学校運営協議会（記録）

令和7年7月4日(金)15時

本校校長室（会議）

次 第

1 配付資料の確認 等（村瀬）

1-1 校長挨拶

1-2 委員および事務局の紹介（自己紹介）

☆運営協議会委員

	お 名 前	ご 所 属	出欠
1	西村 孝彦	関西外国語大学 英語国際学部 教授	出席
2	宮崎 義之	高槻市立第十中学校 校長	出席
3	尾村 麻由美	コーチングラボ Coco Style 代表	欠席
4	深串 有里	高槻市民生児童委員	出席
5	土井原 美智子	大冠高等学校 冠友会 会長	出席
6	日笠 大輔	大冠高等学校 PTA 会長	出席

2 第1部 報告 進行：教頭

2-1 令和7年度学校経営計画の概要及び実施状況（校長より）

2-2 質疑応答

<委員より>

●入試選抜においてアドポリ枠で入学後、クラブを退部した場合はどうなるのか。

A：特に不利益になることはない。

●自己申告書の廃止に伴う代替えは。

A：実技試験や小論文を課すことにより、中学時代に取り組んできたことを一定聞き取ることを想定している。

●地域への貢献とは。

A：地元の子ども祭りの運営等、本校でも家庭科部の生徒が公民館のイベントをサポート参加したり、校区の野外コンサートに出演したり、中高生が活躍しています。

●中学生が司会をする、たそがれコンサートにも吹奏楽部が演奏したり、中学生と高校生が陸上のバトンパスの練習を行う等、地域連携や中高連携がより活発になることが期待できる一方で、私立高校の特別入試のようにならないか気になります。

A：公立高校の入学者選抜なので、公平公正な選抜方法を探ることから今回の方法を検討している状況です。

●遅刻数が学年によって大きく異なるのはなぜか。

A：1年は入学して間がないこともあり、(規則正しく)遅刻数も少ない状況。

3年は、進路指導の一環で、欠席・遅刻をしないよう厳しく伝えているからと思われる。2年は中だるみの傾向が否めない。

●授業見学推進月間を設けて実施しているが、授業力を高めるための対策は。

A：しゃべり場では、ICTを活用した授業実践について発表・共有している。

また、本校教員が、近隣の中学校での出前授業を実施する等している。

- ボランティアについてどのような活動を行っているか。

A：野球部の朝の清掃活動など

- リーディングGIGAハイスクールとは。

A：府立高校30校が指定されており、今年で3年目。電子黒板機能付きプロジェクタの活用実践と他校への活用状況の発信を求められている。年間5回の会議が開催され、本校からは首席1名が出席している。

府の指定事業で、指定年度に、教育庁から電子黒板が導入された(他校よりも1年早く)。

3 第2部 協議 進行：会長

3-1 教科書選定について

来年度使用教科書一覧 及び 各教科作成の選定理由書等を提示し
説明の後、運営協議会委員の承認を得た。

3-2 協議委員から学校への提言

<委員より>

- 教科書の選定については、『何を使うかと』いうよりは、『どのように活用する(学ぶ)のか』。生徒達に(学習すべき)内容を、どのように伝えるのかを考え、各教科の先生方が慎重に審議して選ばれたので良いと思う。
- 近隣の中学校は、大冠高校への入学を希望する生徒も多いので、入試の状況を見て、地域住民としても気になっている。これからも、部活動交流等、しっかりと連携していきたいと考えている。
- アドミッションポリシーの文言に中高連携や部活動の活性化などを取り入れてはどうか
- ボランティアは難しいかもしれませんが、(私たちが学生の頃は)30年前は、社会福祉クラブがあり、手話を学び、発表しあったりしていた。また、最近では、硬式野球部が、地域に出向いて、清掃活動をする等の活動もしていますよね。

4 諸連絡 等

4-1 第2回の日程 11月下旬ごろを予定

今回は、授業見学等、生徒の活動の様子も見ていただきたい。

4-2 その他